

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 132	提案機関名 芦之湖漁業協同組合
要望問題名 芦ノ湖におけるワカサギの放流効果及び生存率の調査と高生産性の確立。	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 背景 ワカサギについては、毎年義務放流量を踏まえた孵化放流を行っていますが漁獲が安定しません。この原因が放流数の不足か、餌が足りないのかが分かっていません。また年毎の生存率と放流に適した時期が何時なのかという事を含めて調査し、結果を踏まえて漁族の安定した生息環境に資したい。 内容 孵化放流魚の生存率と分布、成長に関する調査。 対象地域 神奈川県芦ノ湖全域 規模(面積、数量等) 湖岸線長さ 約19.91km 面積約7.09km ²	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) ワカサギ放流技術開発研究事業		
対応の内容等	平成 24 年度より、芦ノ湖のワカサギを対象とした調査を始めており、季節によりワカサギの餌となる動物プランクトンの種類や量が異なることが分かってきました。今後、ふ化放流したワカサギ仔魚の移動・分散を把握すると共に、ワカサギ仔魚の生残に影響を及ぼす餌料生物について調査を行っています。 現在水産庁に対して、「ワカサギの資源管理手法に関する研究」の要望を行っており、事業採択されれば、新しい資源管理手法への取り組みたいと考えております。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			